

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	敬老事業		予算事業名	敬老事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者の生きがいがつくりと社会参加を推進する		担当課長	友上 啓子		担当者名	塚本 裕貴
取組み事項	生きがいを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者					
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう					

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> 市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ) 百歳到達者を祝福(市長訪問、祝品贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影 9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝い金を支給 					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	1	1	0	1	
	百歳到達者祝福	件	11	14	16	15	
	77歳(喜寿)祝福	件	305	371	434	350	
	80歳到達者記念写真	件	921	242	225	300	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.434	0.168	39	0.340	202	0.344	101	
	臨時職員	0.080	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	3,929,574	1,604,568	41	2,930,910	183	3,086,853	105	
	事業費	6,978,673	5,605,512	80	6,341,154	113	5,840,000	92	
	合計	10,908,247	7,210,080	66	9,272,064	129	8,926,853	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,908,247	7,210,080	66	9,272,064	129	8,926,853	96	
	合計	10,908,247	7,210,080	66	9,272,064	129	8,926,853	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標説明(式)		80歳到達者記念写真撮影者数(H23年度はH18~H23年度に80歳になった方が対象)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1600	360	22.5	336	93.3	300	89.3	
	実績	921	242	26.3	225	93.0			
指標名2		喜寿祝支給件数							
指標説明(式)		喜寿(77歳)祝支給件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	305	390	127.9	450	115.4	350	77.8	
	実績	305	371	121.6	434	117.0			

【効率性】

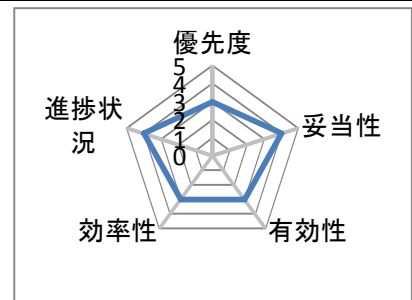
指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費／延件数(実績)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		12678	-	9219	72.7	8769	95.1	
	実績	8808	8926	101.3	9394	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。今後、各敬老事業の継続について検討する必要がある	3
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	百歳の祝品の金額(五万円相当)を検討する余地はあるが、他の敬老事業とのバランスに考慮が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	百歳の祝品の金額(五万円相当)を検討。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する			担当課長	西角 隆行	担当者名	岡部 一成
取組み事項		生きがいつくりを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	金ヶ崎学園大学	回数	14	14	14	14	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.160	133	0.160	100	
	臨時職員	0.400	0.400	100		0	0.120	-	
支出内訳	人件費	2,201,584	2,195,016	100	1,547,250	70	1,912,389	124	
	事業費	644,571	671,043	104	629,104	94	712,000	113	
	合計	2,846,155	2,866,059	101	2,176,354	76	2,624,389	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	817,000	811,500	99	826,000	102	610,000	74	
	一般財源	2,029,155	2,054,559	101	1,350,354	66	2,014,389	149	
合計	2,846,155	2,866,059	101	2,176,354	76	2,624,389	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生							
指標説明(式)		学園生人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	540	520	96.3	550	105.8	550	100.0	
	実績	589	582	98.8	591	101.5			
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数							
指標説明(式)		年間延参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	7,800	7,000	89.7	8000	114.3	8000	100.0	
	実績	7,935	8227	103.7	7444	90.5			

【効率性】

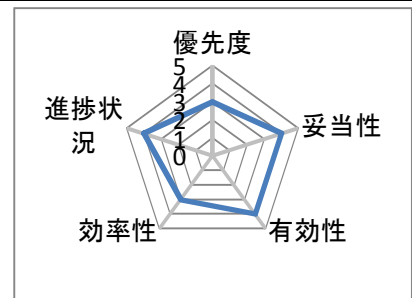
指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		211792	-	211163	99.7	187456	88.8	
	実績	203296	204718	100.7	155454	75.9			
指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		5702	-	5375	94.3	4772	88.8	
	実績	3677	4924	133.9	3682	74.8			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設のキャパの関係もあるが、受講者数は上限まできている	4
	市民サービス	高齢化が進むにつれ、年々学園生が増加している	
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学習を通じて地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で開講している。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020301020100		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいつくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	助成対象単位クラブ数	クラブ	24	25	24	26	
	助成対象クラブ会員数	人	1267	1302	1315	1400	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.177	0.376	212	0.212	56	0.168	79	
	臨時職員	0.000	0.080	-		0		-	
支出内訳	人件費	1,712,799	3,403,400	199	1,946,974	57	1,673,397	86	
	事業費	3,444,239	3,575,647	104	3,454,675	97	3,521,000	102	
	合計	5,157,038	6,979,047	135	5,401,649	77	5,194,397	96	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	1,743,000	1,809,000	104	1,745,000	96	1,794,000	103	
	市債	0		-		-		-	
	その他	26,684	25,884	97	23,469	91	13,016	55	
	一般財源	3,387,354	5,144,163	152	3,633,180	71	3,387,381	93	
	合計	5,157,038	6,979,047	135	5,401,649	77	5,194,397	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数の増減							
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	28	26	92.9	26	100.0	26	100.0	
	実績	24	25	104.2	24	96.0			
指標名2		助成対象クラブ会員数の増減							
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1400	93.3	1400	100.0	1400	100.0	
	実績	1267	1302	102.8	1315	101.0			

【効率性】

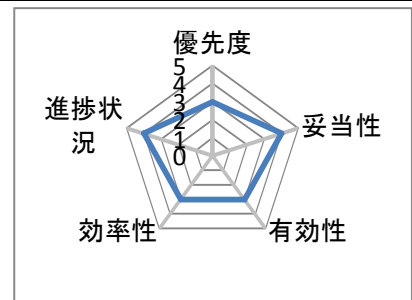
指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2523	2602	103.1	2607	100.2	2515	96.5	
	実績	2718	2746	101.0	2627	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数クラブ数とも減少傾向にあり、加入促進を図る必要がある。	3
	市民サービス	高年クラブの活動強化により地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	3
	執行体制の効率性	活動内容のマンネリ化を防ぐため、事業計画の作成により広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。また、事務的負担が1役員に集中するのを避け持続的な仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	活動の内容を見直し、会員の意見が反映されるよう検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	会員の意見を反映し事業内容等を見直し高年クラブの魅力アップを図り、会員増進に努める。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010100		事業の種類	7		
年度	25	事務事業名	老人福祉施設整備事業		予算事業名	老人福祉施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		椿の園耐震診断			老人福祉施設整備補助事業			
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者						
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	第5期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	認知症対応型グループホーム	件	2	0	1	0	
	小規模多機能型居宅介護事業所	件	1	2	0	0	
	養護老人ホーム「愛老園」	件		1	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.240	240	0.160	67	0.080	50	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,104,884	2,160,696	196	1,547,250	72	966,669	62	
	事業費	32,366,120	55,686,180	172	40,910,120	73	11,000	0	
	合計	33,471,004	57,846,876	173	42,457,370	73	977,669	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,361,000	3,742,680	159	40,800,000	1,090	0	0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	31,110,004	54,104,196	174	1,657,370	3	977,669	59	
	合計	33,471,004	57,846,876	173	42,457,370	73	977,669	2	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数							
指標説明(式)		認知症対応型グループホーム + 小規模多機能型居宅介護事業所の整備件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	3	0	0.0	1	-	0	0.0	
	実績	3	0	0.0	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

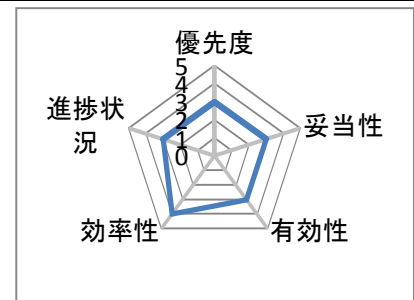
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成25年度整備計画のあったGH2ユニット1事業所の整備も完了した。椿の園の耐震診断が遅れている。	3
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみ	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画より遅れている施設あり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	椿の園の耐震診断の未実施



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	介護事業所の施設整備については、介護保険事業計画に基づいているため、第5期分整備完了。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	介護保険事業計画策定事務		予算事業名	介護保険事業ほか 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 丸山 由紀子
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有		主要事業の指定 無
実施計画事業名		高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定					
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	支援を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	支援を必要とする高齢者及び要介護認定者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	(1)健康な高齢者の増進と要介護認定者の進行防止 (2)身近な地域で必要なサービスが提供できる環境整備					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険審議会を開催し、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定・変更・進行管理を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	審議会委員数	人	11	10	10	11	
	審議会開催数	回	4	2	2	4	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.506	0.100	20	0.108	108	0.480	444	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	4,310,254	1,079,336	25	1,147,526	106	4,179,069	364	
	事業費	16,145,103	8,643,455	54	8,915,001	103	11,474,000	129	
	合計	20,455,357	9,722,791	48	10,062,527	103	15,653,069	156	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,455,357	9,722,791	48	10,062,527	103	15,653,069	156	
	合計	20,455,357	9,722,791	48	10,062,527	103	15,653,069	156	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		審議会開催日数							
指標説明(式)		審議会開催日数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	4	66.7	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	2	50.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

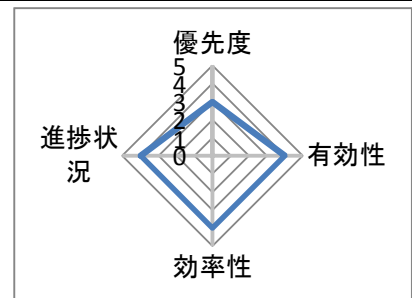
指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	467	936.1	200.4	837.1	89.4	1489.2	177.9	
	実績	2245.8	880	39.2	1022.5	116.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	介護保険法に基づく必要な計画策定となっている。	4
効率性	執行体制の 効率性	第5期介護保険事業計画に基づき、事業等を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	コストの節減	計画策定の年度には、コンサル業者にアンケートの集計、分析などを委託するため、事業費が大幅に増加する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	手段の最適性	市民ニーズをアンケート等で吸い上げ、現状の分析を十分に行い、コストに見合った有益な計画を策定する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010300		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	介護保険料賦課事業		予算事業名	介護保険事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課						

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知及び収納業務を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	保険料賦課人数	人	9156	9499	9808	10014		

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.034	0.892	86	0.600	67	0.608	101	
	臨時職員	0.080	0.200	250		0	0.288	-	
支出内訳	人件費	8,666,574	7,677,344	89	4,929,530	64	5,934,813	120	
	事業費	1,444,464	1,526,488	106	1,390,309	91	1,302,000	94	
	合計	10,111,038	9,203,832	91	6,319,839	69	7,236,813	115	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-		-		-	
	県支出金	0	0	-		-		-	
	市債	0	0	-		-		-	
	その他	0	0	-		-		-	
	一般財源	10,111,038	9,203,832	91	6,319,839	69	7,236,813	115	
	合計	10,111,038	9,203,832	91	6,319,839	69	7,236,813	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者数/相生市人口							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0	33	110.0	
	実績	29.3	30.71	104.8	31.89	103.8	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費／保険料賦課人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	172	173	100.6	171	98.8	130	76.0	
	実績	157	161	102.5	142	88.2			
指標名2		口座振替利用者状況							
指標説明(式)		口座振替利用者数／普徴数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	0.15	0.15	100.0	0.2	133.3	0.2	100.0	
	実績	0.16	0.15	93.8	0.21	140.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正・確実に賦課を行った。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	事務の見直しにより、人件費が削減となった。65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封したことにより、口座振替利用者が増加した。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	5

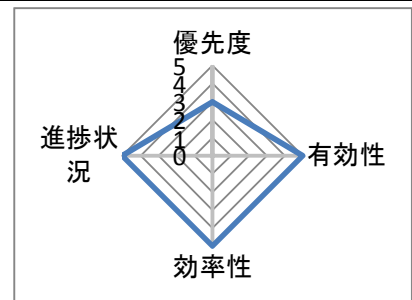
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	法定義務のない仮算定通知書を取りやめ、人件費や役務費の削減につなげる。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010400		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	介護認定審査会事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	友上 啓子		担当者名	塚本 裕貴
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等							
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等							
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定審査の適正な実施							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。							
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画			
	要介護認定調査件数	件	2128	1857	1927	2062			
	要介護認定審査件数	件	2093	1820	1891	2080			

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.004	1.056	105	0.854	81	0.892	104	
	臨時職員	0.572	0.088	15	0.780	886	0.680	87	
支出内訳	人件費	9,584,448	8,674,944	91	8,786,008	101	9,206,201	105	
	事業費	2,529,800	2,459,600	97	2,509,680	102	2,653,000	106	
	合計	12,114,248	11,134,544	92	11,295,688	101	11,859,201	105	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	12,114,248	11,134,544	92	11,295,688	101	11,859,201	105	
	合計	12,114,248	11,134,544	92	11,295,688	101	11,859,201	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均介護認定事務処理日数							
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数 / 認定審査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
日	目標	39	30	76.9	30	100.0	30	100.0	
	実績	29	25	86.2	30	120.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7850	7613	97.0	7645	100.4	8072	105.6	
	実績	7548	7868	104.2	7518	95.6			

指標名2		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1128	1094	97.0	1223	111.8	1275	104.3	
	実績	1209	1351	111.7	1327	98.2			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている、平均処理日数の短縮について前年度より短縮できた。処理日数に目標日数にかかったケースもあるため今後も検討が必要。	3
	成果の向上	申請時期や適正な申請について窓口指導を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	調査員の確保に目途が立ち、調査体制が一応安定した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

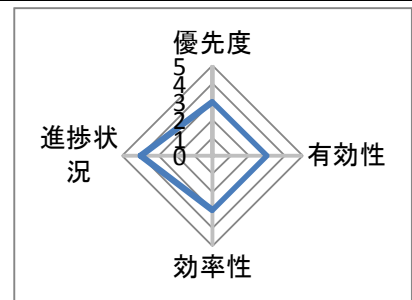
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	介護認定申請者数は増加傾向にあるため、効率化が求められる。昨年から引き続き認定期間の延長により、認定件数を減少し、コストを抑える。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	引き続き、関係機関との協力体制を強化し、認定までの処理日数の短縮を目指す。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010500		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	認定調査事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	塚本 裕貴
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要		要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	介護認定調査員	人	8	8	8	8	
	要介護認定調査	件	2093	1857	1927	2062	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.050	114	0.144	288	0.072	50	
	臨時職員		0.600	-	0.684	114		0	
支出内訳	人件費	662,764	2,134,936	322	3,093,902	145	902,421	29	
	事業費	15,798,362	14,611,552	92	14,487,415	99	16,644,000	115	
	合計	16,461,126	16,746,488	102	17,581,317	105	17,546,421	100	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	16,461,126	16,746,488	102	17,581,317	105	17,546,421	100	
	合計	16,461,126	16,746,488	102	17,581,317	105	17,546,421	100	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		介護認定調査件数							
指標説明(式)		介護認定調査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標		2420	-	2170	89.7	2062	95.0	
	実績	2093	1857	88.7	1927	103.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7850	7613	97.0	7645	100.4	8071	105.6	
	実績	7548	7868	104.2	7518	95.6			

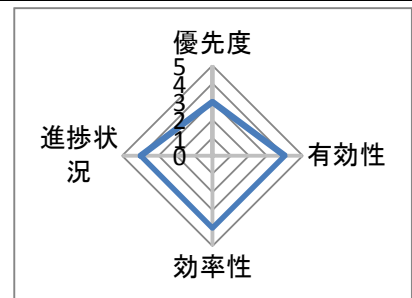
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。人員確保により処理日数の短縮が図れている。	4
	成果の向上	新人調査員の研修受講、調査員間での確認作業の実施により、より適正な調査が可能となった。	
効率性	執行体制の効率性	調査員の確保により、調査の体制が安定した。	4
	コストの節減	調査体制の安定に伴い、調査員間の確認作業を実施できるようになり、事務局業務の効率が上がった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	調査票作成時に誤字やマニュアルに沿った項目が選択されていないケースが稀にあり、チェック時の職員の負担が大きく、効率が落ちている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	調査票作成時に調査員間でのチェックも実施する。実施により、効率化およびミスの減少、調査員間の認識の統一が期待される。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010600		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	介護保険給付事務	予算事業名	介護保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者					
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	認定者数	人	1639	1735	1758	1854	
	保険給付費総額	円	2163540563	2279068246	2395654964	2593161000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.560	0.748	134	0.580	78	0.640	110	
	臨時職員	0.200	0.000	0		-		-	
支出内訳	人件費	5,205,984	6,084,488	117	4,775,790	78	5,464,029	114	
	事業費	2,163,540,563	2,279,068,246	105	2,395,654,964	105	2,593,161,000	108	
	合計	2,168,746,547	2,285,152,734	105	2,400,430,754	105	2,598,625,029	108	
財源内訳	国庫支出金	481,144,412	511,586,135	106	544,403,303	106	584,648,000	107	
	県支出金	319,836,000	332,791,000	104	351,329,000	106	378,079,000	108	
	市債			-		-		-	
	その他	1,096,981,435	1,156,138,284	105	1,176,701,190	102	1,250,202,000	106	
	一般財源	270,784,700	284,637,315	105	327,997,261	115	385,696,029	118	
合計	2,168,746,547	2,285,152,734	105	2,400,430,754	105	2,598,625,029	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり保険給付費総額/年間							
指標説明(式)		保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1461255	1397108.892	95.6	1402172.493	100.4	1401631.622	100.0	
	実績	1320036.951	1313584.003	99.5	1365432.738	103.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

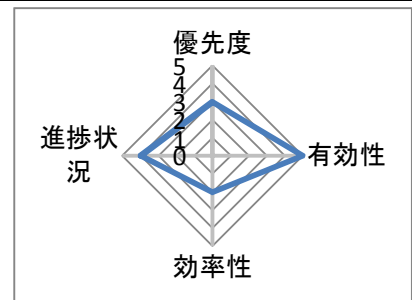
指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		251187.839	-	252813.19	100.6	264959.742	104.8	
	実績	236478.365	240593.044	101.7	244742.124	101.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	介護保険に係る制度周知や各種サービス事業所の整備、高齢化率の増加等により一人当たり事業費は増加している。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	過剰サービスで無いよう、また利用者負担に配慮した介護サービスを提供できるよう保険者として一層の適正化を図る



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	適正な介護サービスの提供

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010700	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	家族介護用品支給事業	予算事業名	家族介護用品支給事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護サービスを充実する		担当者名	河内 真理子
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定 無
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族			
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族			
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減			

2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	支給人数	人	8	8	6	8

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.120	250	0.020	17	0.128	640	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	694,344	1,233,816	178	471,070	38	1,352,157	287	
	事業費	476,257	369,370	78	541,370	147	700,000	129	
	合計	1,170,601	1,603,186	137	1,012,440	63	2,052,157	203	
財源内訳	国庫支出金	200,000	633,259	317	213,841	34	276,500	129	
	県支出金	100,000	316,629	317	106,921	34	138,250	129	
	市債			-		-		-	
	その他	100,000	33,669	34	113,688	338	147,000	129	
	一般財源	770,601	619,629	80	577,990	93	1,490,407	258	
	合計	1,170,601	1,603,186	137	1,012,440	63	2,052,157	203	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	8	160.0	7	87.5	8	114.3	
	実績	8	8	100.0	6	75.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	146325	45172	30.9	90228	199.7			

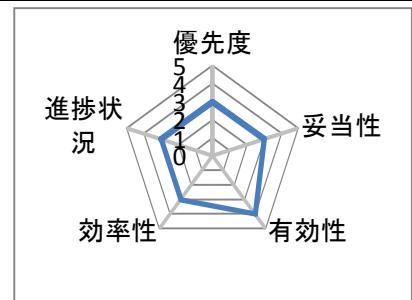
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない	4
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる	
効率性	手段の最適性	対象介護用品に、使い捨て手袋、清拭剤を加えた。今後も定期的に必要性に考慮して対象品の検討をする	3
	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	支給実績が少ない



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報紙等への掲載、ケアマネ、民生委員等への周知を図ったが件数の伸びがみられず、さらに周知を図る

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010800		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	家族介護慰労金支給事業		予算事業名	家族介護慰労金支給事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族					
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	支給人数	人	2	1	1	2

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.032	100	0.020	63	0.056	280	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	568,024	554,104	98	471,070	85	773,925	164	
	事業費	360,000	120,000	33	120,000	100	360,000	300	
	合計	928,024	674,104	73	591,070	88	1,133,925	192	
財源内訳	国庫支出金	144,000	266,271	185	47,000	18	142,000	302	
	県支出金	72,000	133,136	185	23,000	17	71,000	309	
	市債			-		-		-	
	その他	72,000	141,561	197	25,200	18	76,000	302	
	一般財源	640,024	133,136	21	495,870	372	844,925	170	
	合計	928,024	674,104	73	591,070	88	1,133,925	192	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	4	133.3	2	50.0	2	100.0	
	実績	2	1	50.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	480164	267927	55.8	381905	142.5	566962.5	148.5	
	実績	240082	674104	280.8	591070	87.7			

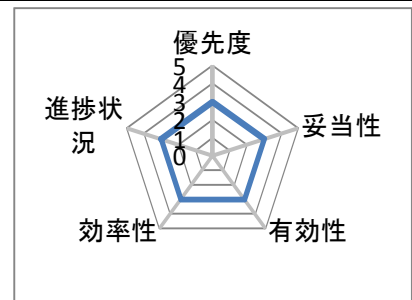
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事により高齢者が住み慣れた地域での生活維持が可能となり、市としてあ施設整備を抑制し保険料の軽減につながる。	3
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護は疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(=1年間)の妥当性について、他市町の事例等を参考に検討する必要がある。	3
	負担割合の適正化	上記期間の検討と合わせ、年12万円の金額の妥当性についても検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討ができていない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	慰労金支給要件や支給金額等について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	慰労金支給要件や支給金額等について検討する必要がある。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010900		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	成年後見制度利用支援事業		予算事業名	成年後見制度利用支援事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	坂本 隼人
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方						
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方						
	意図(どのような状態にしたいのか)	後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部						

2 事業の概要 Do

実施の概要		後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	市長申立件数	件	0	0	2	3		

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.312	0.131	42	0.052	40	0.152	292	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,778,624	1,318,780	47	717,054	54	1,544,901	215	
	事業費	26,690	6,800	25	18,650	274	1,353,000	7,255	
	合計	2,805,314	1,325,580	47	735,704	56	2,897,901	394	
財源内訳	国庫支出金	10,600	523,604	4,940	290,603	56	534,000	184	
	県支出金	5,300	261,802	4,940	145,302	56	267,000	184	
	市債	0		-		-		-	
	その他	5,300	278,372	5,252	154,498	56	285,000	184	
	一般財源	2,784,114	261,802	9	145,301	56	1,811,901	1,247	
	合計	2,805,314	1,325,580	47	735,704	56	2,897,901	394	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立件数							
指標説明(式)		市長申立件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	3	150.0	
	実績	0	0	-	2	-			
指標名2		成年後見制度利用人数							
指標説明(式)		成年後見制度利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	3	150.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

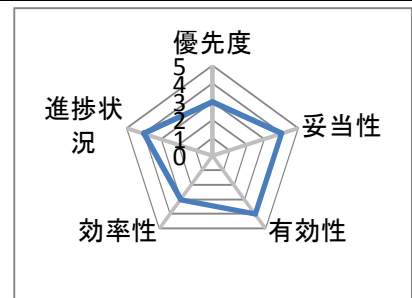
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	後見人等が必要な場合、報酬の助成を受けることができることにより、制度の利用がしやすくなるように平成23年度に要綱を創設。 H25年度、2件市長申立あり。	4
	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事業で、必要である。	
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。 H25 申立て2件あり、うち1件は次年度より制度利用となる見込み。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	坂本 隼人
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護サービスの利用状況の周知、確認を目的として介護給付費通知を送付する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	給付費通知	回	3	3	3	3	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.080	133	0.080	100	0.084	105	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	789,084	924,856	117	932,290	101	998,793	107	
	事業費	302,730	390,220	129	328,939	84	494,000	150	
	合計	1,091,814	1,315,076	120	1,261,229	96	1,492,793	118	
財源内訳	国庫支出金	121,000		0	498,185	-	105,000	21	
	県支出金	60,000		0	249,093	-	99,000	40	
	市債			-		-		-	
	その他	121,730	1,223,076	1,005	264,858	22	105,000	40	
	一般財源	789,084	92,000	12	249,093	271	1,183,793	475	
	合計	1,091,814	1,315,076	120	1,261,229	96	1,492,793	118	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額							
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	9991	9869	98.8	9629	97.6	9499	98.6	
	実績	8721	8797	100.9	9432	107.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

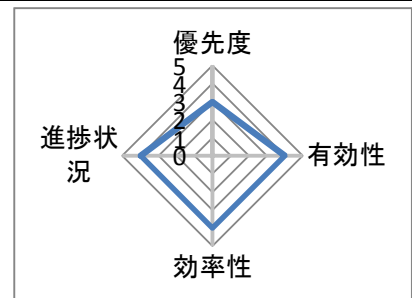
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ケアプラン指導事業を実施し、介護サービスの質の向上を図るとともに、指導監査等に係る体制整備などを行う。	4
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	介護給付費の適正化対策(特にケアプランチェック)については、今後費用対効果を考えながら施策の展開を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	次期事業計画を検討する中で、事業のあり方を検討する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020100		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	しあわせ基金事業		予算事業名	しあわせ基金事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市しあわせ基金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上					
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対し補助金を交付する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	リフトバス派遣回数	回	649	564	622	700
	在宅介護者支援事業実施回数	回	24	22	22	22

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.046	0.072	157	0.050	69	0.040	80	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	678,554	863,064	127	701,680	81	645,429	92	
	事業費	1,260,273	1,250,000	99	2,340,000	187	1,251,000	53	
	合計	1,938,827	2,113,064	109	3,041,680	144	1,896,429	62	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		1,250,000	-	1,250,000	100	1,045,633	84	
	一般財源	1,938,827	863,064	45	1,791,680	208	850,796	47	
合計	1,938,827	2,113,064	109	3,041,680	144	1,896,429	62		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	520	500	96.2	700	140.0	700	100.0	
	実績	649	564	86.9	622	110.3			
指標名2		活動実績							
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	24	30	125.0	30	100.0	22	73.3	
	実績	24	22	91.7	22	100.0			

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1608	1803	112.1	1164	64.6	1507	129.5	
	実績	1280	1125	87.9	1310	116.4			
指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7500	6000	80.0	6000	100.0	7500	125.0	
	実績	6991	7218	103.2	8181	113.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ボランティアの育成や事業の実施は在宅高齢者のサービス向上につながっているが、社会情勢等の変化に伴い市民ニーズも変化するので、適宣事業内容の見直しを図り、マンネリ化を防止する必要がある。	3
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費にあてられている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

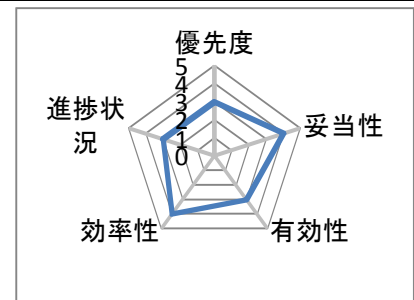
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	社会情勢等の変化により市民ニーズも変化するので事業の内容等検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	市民ニーズの把握に努め事業の内容の見直しに努める。



配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020300		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業		予算事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者ホームヘルプサービス事業運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	日常生活を営むのに支障のある自立の在宅高齢者						
	誰(何)を対象として	日常生活の手助けを必要としながら手助けを得られていない高齢者(病気やけが等一時的な場合に限る)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を営むのに支障のある高齢者が日常家事の手助けを受けとることにより自宅で自立した生活が営まれるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回1時間程度、ホームヘルパーが対象者宅へ出向き、家事援助を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	延べ利用者数	人	40	33	24	36		
	延べ利用時間	時	119	98	74	156		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.012	43	0.060	500	0.060	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	536,444	399,624	74	778,550	195	806,049	104	
	事業費	182,070	152,940	84	116,160	76	242,000	208	
	合計	718,514	552,564	77	894,710	162	1,048,049	117	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	23,800	19,600	82	14,800	76	31,200	211	
	一般財源	694,714	532,964	77	879,910	165	1,016,849	116	
合計	718,514	552,564	77	894,710	162	1,048,049	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数の増減							
指標説明(式)		延べ利用者数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	48	48	100.0	48	100.0	36	75.0	
	実績	40	33	82.5	24	72.7			
指標名2		延べ利用時間数の増減							
指標説明(式)		延べ利用時間数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時	目標	208	208	100.0	120	57.7	120	100.0	
	実績	119	98	82.4	74	75.5			

【効率性】

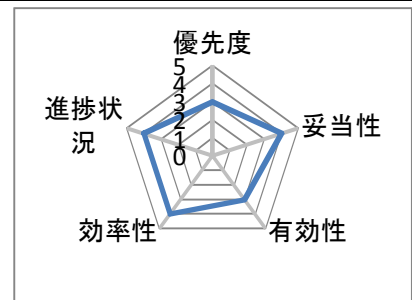
指標名1		利用1時間当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費／延べ利用時間							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1534	1548	100.9	2683	173.3	2017	75.2	
	実績	1530	1561	102.0	1570	100.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	介護認定を受けた市民は介護保険サービスに移行するために、利用者・利用回数が減少傾向である。	3
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中、介護認定は受けていないが病気や怪我等で、一時的にホームヘルプサービスが必要な市民にとって、有効なサービスである。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用者負担金の設定に努める。	4
	手段の最適性	ひとり暮らしの高齢者が増加傾向にある中、施設等に入所することなく、自宅で生活を継続するためには、必要不可欠な事業である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	病気や怪我等で、一時的にサービスが利用しやすい様に速やかに対応する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	ホームヘルプサービスの利用拡大を図るために広報、ケアマネ、民生委員等に周知する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020400		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	老人医療費助成事業		予算事業名	老人医療費助成事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	岩崎 徹博	担当者名	土居 城介
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		老人医療費助成事業						
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢者(65~69歳)の老人医療費助成対象者						
	誰(何)を対象として	高齢者(65~69歳)の老人医療費助成対象者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす						

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人(65~69歳)の医療費の一部を助成する				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成費	円	20,365,273	15,843,519	18,101,427	22,420,000
	助成件数	件	6,622	5,592	6,060	6,600
	平均受給者数	人	364	304	363	420

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.237	0.248	105	0.264	106	0.264	100	
	臨時職員	0.031	0.026	84	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,259,256	2,284,966	101	2,410,164	105	2,510,075	104	
	事業費	20,365,273	15,843,519	78	18,101,427	114	22,420,000	124	
	合計	22,624,529	18,128,485	80	20,511,591	113	24,930,075	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	6,991,165	4,320,070	62	4,991,482	116	5,200,000	104	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,633,364	13,808,415	88	15,520,109	112	19,730,075	127	
合計	22,624,529	18,128,485	80	20,511,591	113	24,930,075	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの老人医療費助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	65,000	66,000	101.5	54,008	81.8	53,381	98.8	
	実績	55,949	52,117	93.2	49,866	95.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		老人医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	656	352	53.7	411	116.8	380	92.5	
	実績	341	409	119.9	398	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳から69歳の老人に対し、医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	受給者の増に伴い、受診件数・助成費も増加したが、1件当りのコストは減となった。	4
	執行体制の効率性	年齢到達で該当する者等に対して、申請案内をするなど迅速、適正な事務処理を行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

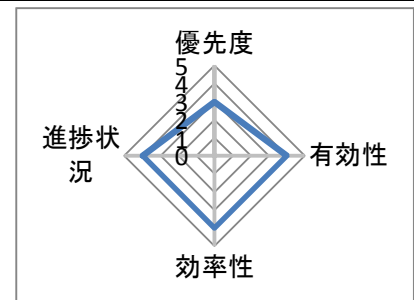
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	受給該当者への周知がうまくできていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	広報紙等で事業の周知を図り、対象者がもれなく受給できるようにする。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020500	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業	予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	番匠 真由美
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の住民			
	誰(何)を対象として	65歳以上の鍼灸・マッサージ等施療利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	鍼灸・マッサージ等施療費の一部を助成することにより、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上の鍼灸マッサージ施療利用者に施療費の一部を助成				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成費	円	3,215,000	2,925,000	3,074,000	3,680,000
	助成回数	回	3,215	2,925	3,074	3,680
	申請者数	人	529	497	504	600
	対象者数	人	9,180	9,531	9,841	9,841

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.019	0.022	116	0.024	109	0.022	92	
	臨時職員	0.028	0.026	93	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	531,105	539,342	102	565,284	105	566,573	100	
	事業費	3,215,000	2,925,000	91	3,074,000	105	3,680,000	120	
	合計	3,746,105	3,464,342	92	3,639,284	105	4,246,573	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,746,105	3,464,342	92	3,639,284	105	4,246,573	117	
合計	3,746,105	3,464,342	92	3,639,284	105	4,246,573	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの鍼灸・マッサージ施療助成回数							
指標説明(式)		受診回数/申請人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6.1	6.1	100.0	6.1	100.0	6.1	100.0	
	実績	6.1	5.9	96.7	6.1	103.4			
指標名2		対象者にかかる申請率							
指標説明(式)		申請人数/対象者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.7	6.5	97.0	6.5	100.0	6.1	93.8	
	実績	5.8	5.2	89.7	5.1	98.1			

【効率性】

指標名1		鍼灸・マッサージ施療助成1回当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,241	1,156	93.2	1,139	98.5	1,154	101.3	
	実績	1,165	1,184	101.6	1,184	100.0			

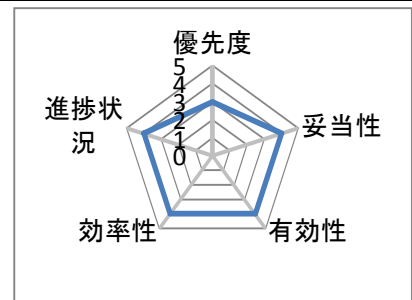
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に占める申請者の割合、申請者1人当りの助成回数はほぼ横ばいであり、適正な助成を行った。	4
	市民サービス	施療費を助成することにより、経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	1件当りのコストは前年並みであった。	4
	手段の最適性	適正な助成を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	申請者1人当りの助成回数が横ばいの状態であるため、助成回数等、助成内容の見直しが必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	県下実施自治体の助成状況と比較し、助成内容等の見直しを検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020600	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業	予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	土居 城介
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		高齢重度障害者特別医療費助成要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者特別医療費助成対象者			
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者特別医療費助成対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢でかつ重度の障害をもつ者に対し、医療費の一部負担相当額を特別医療費として助成する				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	助成費	円	34,780,202	28,581,999	29,828,402	35,450,000
	助成件数	件	7,701	7,352	7,293	7,900
	平均受給者数	人	344	336	318	345

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.193	0.215	111	0.232	108	0.232	100	
	臨時職員	0.031	0.026	84	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	1,911,876	2,030,074	106	2,164,180	107	2,253,083	104	
	事業費	34,780,202	28,581,999	82	29,828,402	104	35,450,000	119	
	合計	36,692,078	30,612,073	83	31,992,582	105	37,703,083	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	13,962,888	11,647,805	83	12,746,672	109	17,725,000	139	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,729,190	18,964,268	83	19,245,910	101	19,978,083	104	
合計	36,692,078	30,612,073	83	31,992,582	105	37,703,083	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの高齢重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100,000	108,873	108.9	95,070	87.3	102,754	108.1	
	実績	101,105	85,065	84.1	93,800	110.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	482	269	55.8	275	102.2	285	103.6	
	実績	248	276	111.3	297	107.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の高齢重度障害者に対し、適正な医療費助成を行うことにより、目標が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	受給者は減少しているが、1件当りのコストは増加している。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

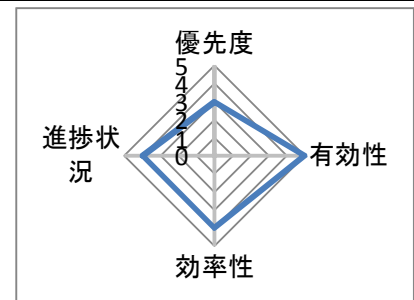
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療費通知などを行い、医療費の抑制を図っていく。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020800		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	高齢者特別給付金支給事業		予算事業名	高齢者特別給付金支給事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	細川 優太
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍高齢者等福祉給付金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等					
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍高齢者等に対し、福祉給付金を支給する					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	無年金外国籍高齢者等福祉給付金事務	人(延べ)	24	17	5	12	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.039	0.018	46	0.018	100	0.018	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	-	-	
支出内訳	人件費	623,289	445,968	72	455,696	102	468,747	103	
	事業費	813,600	571,200	70	167,500	29	400,000	239	
	合計	1,436,889	1,017,168	71	623,196	61	868,747	139	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	403,000	283,000	70	83,000	29	199,000	240	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,033,889	734,168	71	540,196	74	669,747	124	
合計	1,436,889	1,017,168	71	623,196	61	868,747	139		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 $\frac{\text{受給対象者延べ人数}}{\text{給付者延べ人数}} \times 100$							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数/受給者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	0.444	0.444	100.0	0.444	100.0	0.444	100.0	
	実績	0.444	0.444	100.0	0.444	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	適正に給付している。	3
	成果目標(改善)達成度	対象者に対して100%給付している。	
効率性	コストの節減	無年金外国籍高齢者等の受給者1人当たり0.444時間	3
	執行体制の効率性	受給者に対して、適正な事務処理を行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

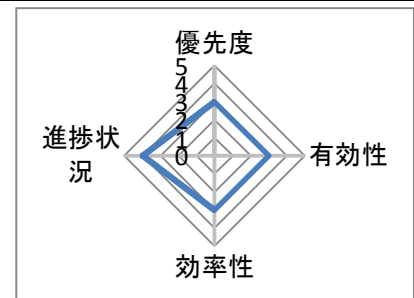
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	在日外国人の無年金問題は、本来年金制度の持つ加入資格要件上発生した問題であり、国の責任において実施すべき問題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	関係機関等を通じて、国に要望していく。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020900	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	老人短期入所運営事業	予算事業名	老人短期入所運営事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	河内 真理子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市老人短期入所事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う			

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用人数	人	0	0	1	5
	短期入所日数	日	0	0	12	50

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.068	0.001	1	0.016	1,600	0.048	300	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	852,244	314,660	37	440,322	140	709,677	161	
	事業費	0	3,974	-	53,065	1,335	203,000	383	
	合計	852,244	318,634	37	493,387	155	912,677	185	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	-	-	-	-	
	県支出金	0	0	-	-	-	-	-	
	市債	0	0	-	-	-	-	-	
	その他	0	0	-	4,680	-	19,500	417	
	一般財源	852,244	318,634	37	488,707	153	893,177	183	
合計	852,244	318,634	37	493,387	155	912,677	185		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	0	0	-	1	-			
指標名2		短期入所日数							
指標説明(式)		短期入所日数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	0	0	-	12	-			

【効率性】

指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40600	40600	100.0	40600	100.0	40600	100.0	
	実績	0	0	-	53065	-			
指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4060	4060	100.0	4060	100.0	4060	100.0	
	実績	0	0	-	4422	-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合の”つなぎ”としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯分離を図る手段として有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

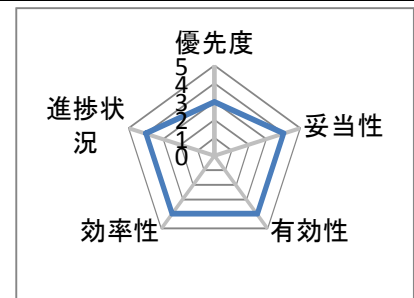
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの連携の必要性

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	関係施設との協力関係を一層構築し、事業への理解を深めてもらう



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021000	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	高齢者デイサービス運営事業	予算事業名	高齢者デイサービス運営事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	中嶋 恵子
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
				無	無
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者デイサービス事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	家に閉じこもりがちな高齢者			
	誰(何)を対象として	家に閉じこもりがちな高齢者で要介護・要支援の認定を受けていない者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会的孤立感を解消し、要介護状態に陥るのを防止する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		デイサービス事業所又はミニデイサービス事業所において、対象者に健康チェック・入浴サービス・給食サービス等の提供を通して、高齢者の在宅生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	デイ延利用者数	人	316	352	283	350
	デイ延利用回数	回	572	608	548	650
	ミニデイ延利用者数	人	313	252	158	200
	ミニデイ延利用回数	回	454	368	220	350

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.024	86	0.040	167	0.052	130	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	536,444	492,312	92	624,810	127	741,801	119	
	事業費	2,683,992	2,622,280	98	2,140,864	82	3,067,000	143	
	合計	3,220,436	3,114,592	97	2,765,674	89	3,808,801	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,220,436	3,114,592	97	2,765,674	89	3,808,801	138	
	合計	3,220,436	3,114,592	97	2,765,674	89	3,808,801	138	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数の増減							
指標説明(式)		延べ利用者数の増減(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1070	660	61.7	660	100.0	550	83.3	
	実績	629	604	96.0	441	73.0			
指標名2		延べ利用回数の増減							
指標説明(式)		延べ利用回数の増減(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1740	1440	82.8	1380	95.8	1000	72.5	
	実績	1026	976	95.1	768	78.7			

【効率性】

指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用／延べ利用回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3657	3007	82.2	3118	103.7	3809	122.2	
	実績	3139	3191	101.7	3601	112.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	認定を受けた市民は、介護保険サービスに移行するため、利用者・回数ともに減少傾向にある。	3
	市民サービス	閉じこもり防止によって、心身の健全化が図れ、高齢者が要介護の状態に陥る危険性を軽減できる。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用負担金の設定に努めている。	3
	手段の最適性	ひとり暮らし、認知症の高齢者が増加の傾向にある中、認知症予防とともに介護する家族の負担軽減等は、在宅生活を継続する上で必要不可欠である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

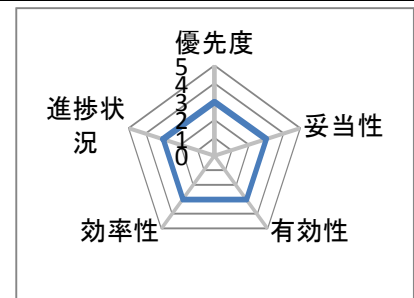
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	利用者の閉じこもりを防止し心身の健全化を図る

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	利用者の心身の健全化を図り、要介護の状態に陥らないように努める。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021100	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	高齢者日常生活用具給付等事業	予算事業名	高齢者日常生活用具給付等事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	河内 真理子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市老人日常生活用具給付等事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者			
	誰(何)を対象として	市民税非課税の65歳以上の高齢者のみの世帯で、火の始末が特に不安な者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	電磁調理器や自動消火器を給付等し、在宅生活を支援する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		防火等に配慮の必要な対象者に対し、電磁調理器は1万6千円、自動消火器は2万6千円を限度に給付し、在宅生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	給付人数	人	2	2	0	4

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.044	275	0.016	36	0.056	350	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	441,704	646,792	146	440,322	68	773,925	176	
	事業費	27,600	21,600	78	0	0	74,000	-	
	合計	469,304	668,392	142	440,322	66	847,925	193	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-	74,000	-	
	一般財源	469,304	668,392	142	440,322	66	773,925	176	
	合計	469,304	668,392	142	440,322	66	847,925	193	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付人数							
指標説明(式)		給付人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	6	6	100.0	5	83.3	4	80.0	
	実績	2	2	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

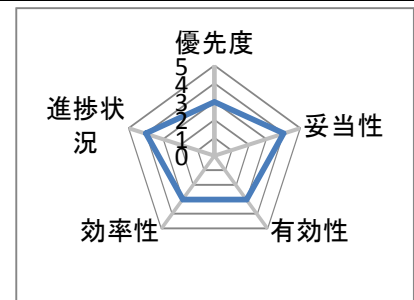
指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		総経費/給付人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	201082	139685	69.5	124762	89.3	211981	169.9	
	実績	234652	344996	147.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	防火配慮が必要な一人暮らし高齢者の在宅生活を支える上で必要な事業であるが、申請者数が減少傾向にある。	3
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増え、市内には老朽化木造住宅が多い中、在宅生活の継続に加え防災上、有効な市民サービスである。	
効率性	手段の最適性	電磁調理器の給付は有効であるが、ガスを遣いなれた高齢者には抵抗がある上、ガス使用の危険性の認識が薄い高齢者が少なくない。給付のみならず、抵抗感の除去や危険性の認識を高める必要がある。	3
	執行体制の効率性	家族、ケアマネジャー、民生委員、業者等関係者に協力してもらい、申請から取り付けまでの調整を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	給付実績の減少



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	広報による周知のほか、ケアマネジャー、民生委員等への周知を図るとともに給付内容を検討する必要がある

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 坂本 隼人
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者					
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3分の1～10/10の額を助成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	助成件数	件	16	26	31	37	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.150	250	0.148	99	0.052	35	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	789,084	1,465,536	186	1,455,006	99	741,801	51	
	事業費	3,903,000	6,668,424	171	7,702,617	116	9,221,000	120	
	合計	4,692,084	8,133,960	173	9,157,623	113	9,962,801	109	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金	1,896,000	3,162,000	167	3,710,000	117	4,600,000	124	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他			-	-	-	-	-	
	一般財源	2,796,084	4,971,960	178	5,447,623	110	5,362,801	98	
合計	4,692,084	8,133,960	173	9,157,623	113	9,962,801	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	19	19	100.0	38	200.0	37	97.4	
	実績	16	26	162.5	31	119.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	437446.9474	324657.895	74.2	270613.21	83.4	269264.89	99.5	
	実績	293255.25	312844.61	106.7	295407.19	94.4			

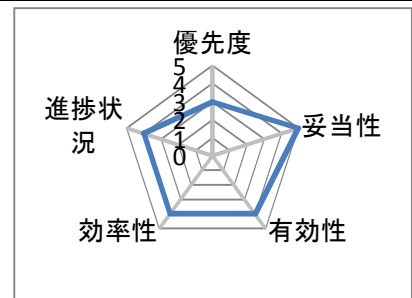
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	実績件数は増加傾向にあり、また一人暮らし高齢者が増えており、在宅生活の継続を図る上で必要な事業である。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	助成額が大きいので、県補助が無くなると実施が困難



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	近年の申請件数増加傾向により、申請から補助額決定までの時間も増加傾向にあるため、補助額決定までの時間を短縮したい

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021300	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業	予算事業名	高齢者在宅生活支援事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	中嶋 恵子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱 ・相生市寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者			
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯 ・要介護2相当以上の者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費代を補助する 年2回を限度に、寝具の洗濯・乾燥・消毒を実施する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	延べ利用回数(寝具)	回	0	0	0	4
	延べ利用回数(理・美容)	回	27	24	19	30
	推進協議会	回	0	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.174	0.160	92	0.021	13		0	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,689,114	1,542,776	91	478,757	31	324,189	68	
	事業費	156,845	144,000	92	50,000	35	96,000	192	
	合計	1,845,959	1,686,776	91	528,757	31	420,189	79	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,845,959	1,686,776	91	528,757	31	420,189	79	
合計	1,845,959	1,686,776	91	528,757	31	420,189	79		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	4	66.7	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	36	36	100.0	36	100.0	30	83.3	
	実績	27	24	88.9	19	79.2			

【効率性】

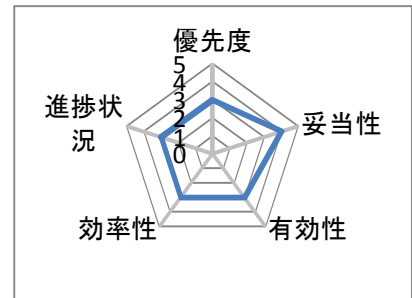
指標名1		1回あたりの事業コスト(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		事業費/利用回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6000	6000	100.0	6000	100.0	12000	200.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	49919.8	45854.8	91.9	16298.8	35.5	14006	85.9	
	実績	64559.9	66282.3	102.7	27197.7	41.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業によって利用者、利用回数は違うが、一定の数の利用者はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業によって利用者、利用回数は違うが、利用者が減少傾向にあるので周知を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民生委員、ケアマネ等への周知を徹底する。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021400		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	アイアイコール事業		予算事業名	アイアイコール事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市アイアイコール事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者					
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で緊急事態が発生した場合に、ボタンひとつで委託業者へ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	年度末時の設置台数	台	228	234	227	270	
	緊急通報回数	回	20	39	34	40	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.260	0.060	23	0.088	147	0.098	111	
	臨時職員	0.012	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	2,396,248	770,376	32	993,786	129	1,111,227	112	
	事業費	2,666,382	3,449,040	129	3,480,435	101	4,220,000	121	
	合計	5,062,630	4,219,416	83	4,474,221	106	5,331,227	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,062,630	4,219,416	83	4,474,221	106	5,331,227	119	
合計	5,062,630	4,219,416	83	4,474,221	106	5,331,227	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)							
指標説明(式)		設置台数(年度末時)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
台	目標	260	250	96.2	250	100.0	270	108.0	
	実績	228	234	102.6	227	97.0			
指標名2		緊急通報回数							
指標説明(式)		緊急通報回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	25	125.0	40	160.0	
	実績	20	39	195.0	34	87.2			

【効率性】

指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10255.3	13796.2	134.5	15596	113.0	15629.6	100.2	
	実績	11694.7	14739.4	126.0	15332.3	104.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、援護を必要とする利用者にとっては、在宅支援の観点から有効的なサービスとなっている。	3
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用を自己負担してもらっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

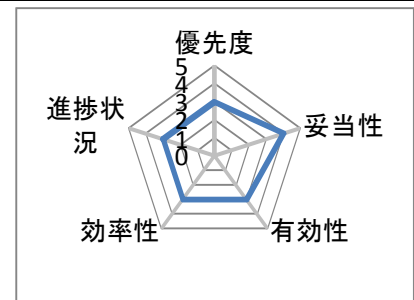
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、条件の内容等を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	条件の内容を見直す、またケアマネ等に事業の内容を周知する。



配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業	
優先度	3		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当課長	友上 啓子			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当者名	中嶋 恵子			
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者					
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用人数	人	64	71	62	70

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.098	0.044	45	0.074	168	0.060	81	
	臨時職員	0.012	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,117,258	646,792	58	886,168	137	806,049	91	
	事業費	419,416	694,276	166	674,934	97	880,000	130	
	合計	1,536,674	1,341,068	87	1,561,102	116	1,686,049	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,536,674	1,341,068	87	1,561,102	116	1,686,049	108	
合計	1,536,674	1,341,068	87	1,561,102	116	1,686,049	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	新規利用申込者								
指標説明(式)	新規利用申込者								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	10	66.7	10	100.0	10	100.0	
	実績	13	6	46.2	7	116.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

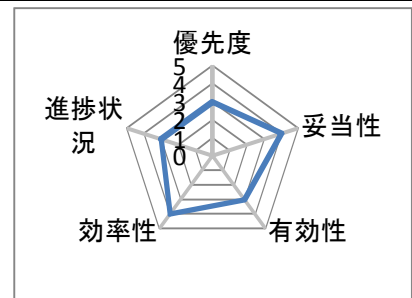
指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費／利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9870	28536	289.1	12225	42.8	12571	102.8	
	実績	6553.4	9778.5	149.2	10886	111.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	3
	成果の向上	事業の周知を図り、より多くの高齢者の方が安心して在宅生活を送れるようにする必要がある。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	多くの高齢者が安心して生活が送れるように、事業内容の周知ができていない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業の内容を理解してもらうために民生委員、ケアマネ等に周知を行う。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	中嶋 恵子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、名簿を作成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	ひとり暮らし老人数(2回目調査時)	人	1432	1485	1536	1550	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.048	75	0.088	183	0.088	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	0.012	-	
支出内訳	人件費	820,664	677,688	83	993,786	147	1,061,241	107	
	事業費			-	-	-	-	-	
	合計	820,664	677,688	83	993,786	147	1,061,241	107	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	820,664	677,688	83	993,786	147	1,061,241	107	
	合計	820,664	677,688	83	993,786	147	1,061,241	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし老人数(2回目調査時)の増減							
指標説明(式)		ひとり暮らし老人数(2回目調査時)の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1450	1450	100.0	1500	103.4	1550	103.3	
	実績	1432	1485	103.7	1536	103.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

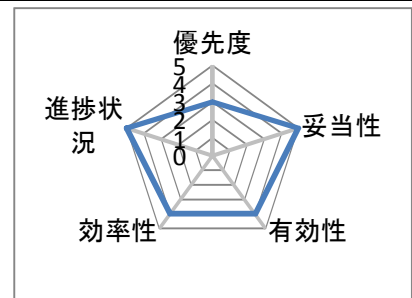
指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費／一人暮らし老人数(2回目調査時)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	566	467	82.5	645	138.1	685	106.2	
	実績	573	456	79.6	647	141.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生委員の实地調査により、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生委員の個別調査によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生委員の個別調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	個人情報保護の観点により調査が困難なケースが増加しつつあるので調査をする必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	ひとり暮らし高齢者の年齢を検討するとともに民生委員等に名簿の必要性等を周知してもらう。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021700	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	火災警報器給付・取付事業	予算事業名	火災警報器給付・取付事業 優先度 2
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	中嶋 恵子
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市火災警報器給付・取付事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	情報弱者であり独力で火災警報器設置が困難な者			
	誰(何)を対象として	火災警報器が未設置の市民税非課税世帯に属する高齢者のみの世帯及び高齢者と重度障害者のみの世帯			
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災警報器を設置し、火災からの安全・安心を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者宅に火災警報器を給付し、取り付ける。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	給付・取付件数	件	105	7	2	8
	給付個数	個	130	7	3	10

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.040	63	0.040	100	0.024	60	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100		0	
支出内訳	人件費	848,828	644,732	76	654,102	101	516,933	79	
	事業費	378,105	20,359	5	8,725	43	25,000	287	
	合計	1,226,933	665,091	54	662,827	100	541,933	82	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	378,105		0		-		-	
	一般財源	848,828	665,091	78	662,827	100	541,933	82	
	合計	1,226,933	665,091	54	662,827	100	541,933	82	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付個数							
指標説明(式)		給付個数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
個	目標	160	100	62.5	20	20.0	10	50.0	
	実績	130	7	5.4	3	42.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		設置1件あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷設置件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7668.33125	6650.91	86.7	30678.9	461.3	54193.3	176.6	
	実績	9437.946153	95013	1006.7	331413.5	348.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	当該事業によって災害弱者である高齢者宅への火災警報器設置がほぼ完了しているため、生活の安全・安心を高めている。	4
効率性	コストの節減	市職員及び西はりま消防組合職員が各戸直接取付しており、機器の購入費のみの費用で、確実に対象者宅に給付取付できている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

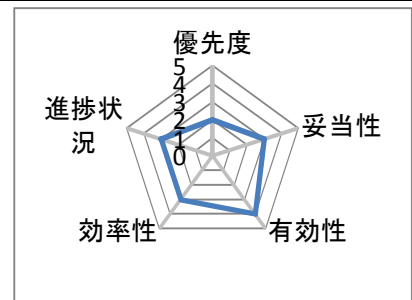
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	火災警報器を設置していない高齢者宅の把握をする。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	まだ高齢者宅への設置がされていない所へは民生委員、ケアマネ、包括等に周知してもらおう。



配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	老人保護措置事業	予算事業名	老人保護措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	河内 真理子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者					
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定					

2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	年度末入所者数	人	37	39	36	38	
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	1	0	0	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.253	0.363	143	0.240	66	0.288	120	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,312,819	3,110,748	135	2,162,210	70	2,637,117	122	
	事業費	70,260,049	71,005,432	101	69,847,733	98	71,628,000	103	
	合計	72,572,868	74,116,180	102	72,009,943	97	74,265,117	103	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	12,692,228	15,357,847	121	15,774,883	103	15,721,000	100	
	一般財源	59,880,640	58,758,333	98	56,235,060	96	58,544,117	104	
合計	72,572,868	74,116,180	102	72,009,943	97	74,265,117	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数							
指標説明(式)		入所人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	37	37	100.0	39	105.4	38	97.4	
	実績	37	39	105.4	36	92.3			
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	2	200.0	0	0.0			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数+虐待に伴う措置入所者数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	1979974	2041590	103.1	1883070	92.2	1836615	97.5	
	実績	1951668	1820652	93.3	1940214	106.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センターと連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

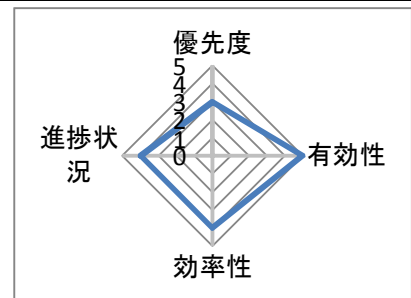
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	虐待案件での緊急入所に対しての空床確保と施設の運営管理との調整

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	関係施設との協力関係を一層構築し、事業への理解を深めてもらう



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021900		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業		予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金					
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者へ減額認定証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	減額認定証交付件数	人	0	1	1	1	
	減免総額	円	0	0	35119	129640	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.012	300	0.020	167	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	346,964	337,832	97	409,574	121	484,809	118	
	事業費	0	0	-	35,119	-	130,000	370	
	合計	346,964	337,832	97	444,693	132	614,809	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	0		-	26,000	-	97,000	373	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	346,964	337,832	97	418,693	124	517,809	124	
合計	346,964	337,832	97	444,693	132	614,809	138		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり減免総額							
指標説明(式)		減免総額/減免認定証交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	143810	143810	100.0	129640	90.1	129640	100.0	
	実績	0	0	-	35119	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	143810	143810	100.0	129640	90.1	129640	100.0	
	実績	0	0	-	35119	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が施設入所等しやすい環境づくりに有効。	3
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成25年度は1名の方に対し軽減が図られた。	3

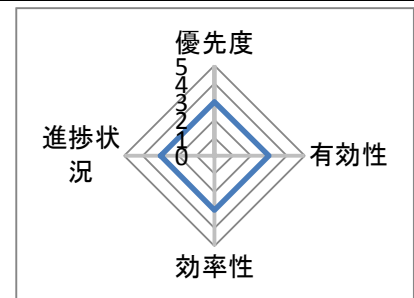
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	該当人数は少ないが、低所得者の方への軽減のため、必要な事業となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	社会福祉法人へのさらなる周知を図る。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302022000		事業の種類		4	
年度	25	事務事業名	救急医療情報キット配付事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	次のいずれかに該当する者①一人暮らし高齢者②高齢者のみの世帯に属する者③重度障害者のみの世帯に属する者④高齢者と重度障害者のみの世帯に属する者⑤生命に危険な病状					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		キットに救急医療情報を入れ自宅冷蔵庫で保管してもらうとともに、キットの存在を示すステッカーを貼り、救急時に救急隊員の手を介して情報を搬送先病院に伝えることで、速やかな救急処置を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	配付件数	件	99	96	98	110	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.040	143	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員	0.012	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	
	事業費		0	-	-	-	-	-	
	合計	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	
	合計	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配付件数							
指標説明(式)		配付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	200	150	75.0	100	66.7	110	110.0	
	実績	99	96	97.0	98	102.1			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	—	4	-	4	100.0	10	250.0	
	実績	4	2	50.0	6	300.0			

【効率性】

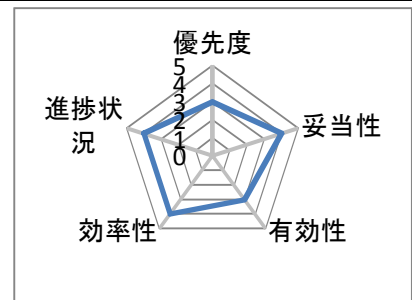
指標名1		救急医療情報キットの配付率							
指標説明(式)		配付件数の累計／4500(作成数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	38.1	39.2	102.9	40.2	102.6	42.6	106.0	
	実績	35.8	38	106.1	40.2	105.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	3
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成するすることで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット一個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例が少ないので調査、検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	高齢者にも多く知ってもらい、市民に対しても広報等で周知するとともに、ケアマネに事業の内容を理解してもらう。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	二次予防事業対象者把握事業		予算事業名	二次予防事業対象者把握事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市地域包括支援センター運営要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	生活機能が低下し、近い将来、要支援状態や要介護状態に陥りかねない二次予防事業対象者の把握					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援状態や要介護状態に陥らないよう、介護予防を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		包括支援センターに委託し、対象者本人や家族、または地域からの情報により二次予防事業対象者を把握し、訪問等により支援し、必要な介護予防事業等へ繋げる。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	二次予防事業対象者数	人	610	458	590	600	
	二次予防事業の参加者数	人	60	47	88	90	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.169	0.032	19	0.100	313	0.052	52	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,668,415	573,328	34	1,086,030	189	741,801	68	
	事業費	5,359,876	5,486,544	102	3,903,080	71	4,560,000	117	
	合計	7,028,291	6,059,872	86	4,989,110	82	5,301,801	106	
財源内訳	国庫支出金	750,000	1,514,968	202	975,770	64	1,140,000	117	
	県支出金	375,000	757,484	202	487,885	64	570,000	117	
	市債			-		-		-	
	その他	1,500,000	3,029,936	202	1,951,540	64	2,280,000	117	
	一般財源	4,403,291	757,484	17	1,573,915	208	1,311,801	83	
	合計	7,028,291	6,059,872	86	4,989,110	82	5,301,801	106	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		二次予防事業対象者数							
指標説明(式)		目標…高齢者人口(年初初め時)の5%				実績…二次予防事業対象者数			
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	452	459	101.5	477	103.9	492	103.1	
	実績	610	458	75.1	590	128.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		二次予防事業対象者の把握1件当たりの委託料コスト							
指標説明(式)		総経費÷特定高齢者(二次予防事業対象者)数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10059	15538	154.5	11033	71.0	10776	97.7	
	実績	11522	13231	114.8	8456	63.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	24年度より基本チェックリストの郵送による把握に変更し、集団健診では把握できなかった対象者の掘り起こしを行った。	4
	期待する目標	把握した対象者を二次予防事業への参加に結びつけられた方は、介護予防の効果を高めることができたが、二次予防事業の定員もあり、把握対象者全員の介護予防の効果を上げることは難しい。	
効率性	執行体制の効率性	相生市地域包括支援センターに委託することで情報の集約化が図られ、各高齢者の状態の変化に応じてきめ細やかな対応が図られる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	把握方法の変更により対象者の掘り起こしに繋がった。	4

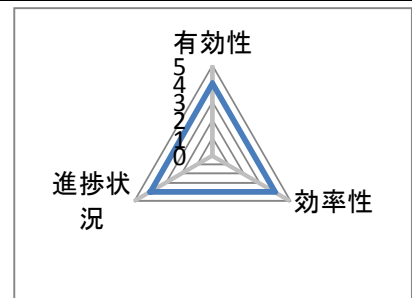
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	把握した対象者を数多く介護予防事業教室につなげたいが、定員があるため、全員の介護予防に繋げることが困難。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	介護予防教室の定員を増やすための事業展開が必要。



配点	25
総合評価	12

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022300		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	通所型介護予防事業	予算事業名	通所型介護予防事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の二次予防事業対象者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の二次予防事業対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	二次予防事業対象者把握事業により把握された二次予防事業対象者を対象に介護予防ケアプランに基づき定期的に介護予防プログラム(運動機能・栄養改善・口腔機能の維持・向上)を実施					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	教室開催回数	回	47	48	85	96
	参加者数(実人数)	人	38	47	75	80
	延べ参加者数	人	909	1123	1346	1500
	新規要介護等認定者数	人	3	2	1	0

3 投入資源

会計区分		介護保険特別会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.280	0.248	89	0.160	65	0.176	110	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0		-	
支出内訳	人件費	2,544,760	2,241,712	88	1,547,250	69	1,737,645	112	
	事業費	2,278,536	2,408,484	106	3,163,091	131	3,452,000	109	
	合計	4,823,296	4,650,196	96	4,710,341	101	5,189,645	110	
財源内訳	国庫支出金	540,900	1,162,549	215	1,177,585	101	1,297,411	110	
	県支出金	270,450	581,275	215	588,792	101	648,706	110	
	市債			-		-		-	
	その他	1,081,800	2,325,098	215	2,355,170	101	2,594,823	110	
	一般財源	2,930,146	581,274	20	588,794	101	648,705	110	
	合計	4,823,296	4,650,196	96	4,710,341	101	5,189,645	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	960	1200	125.0	1400	116.7	1500	107.1	
	実績	909	1123	123.5	1346	119.9			
指標名2		事業参加者からの新規認定者率							
指標説明(式)		新規認定者数÷事業参加者数(実人数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	7.9	4.2	53.2	1.3	31.0			

【効率性】

指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	63557	99072	155.9	131506	132.7	54059	41.1	
	実績	102623	96879	94.4	55415	57.2			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20	25	125.0	28	112.0	20	71.4	
	実績	19.3	23.4	121.2	16	68.4			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通所型介護予防事業として、H25.7月より個別指導に特化した教室を新規で実施。そのため延べ参加者数は増となるも目標達成とはならず。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	参加者の教室での声から、自身の介護予防に対する意識が高まっている。自宅においても自主的に運動等出来ている人もみられる。	
効率性	手段の最適性	保健センターにて開催しているため、送迎バスを実施により参加者が公平に安心して参加できるよう環境整備をしている。	3
	執行体制の効率性	教室従事者間でカンファレンスを行い、教室運営について密に情報共有できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	教室の有効性はみられるが、介護予防制度の見直しに合わせて現状に適した地域支援事業の充実をはかる。	3

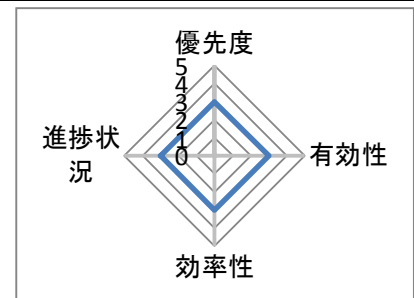
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新規教室実施にて、実参加者増となるが延べ参加者数の増加が少なめで留まっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者の体調や自己都合等の場合もあるが、出来るだけ欠席なく参加してもらえるよう、さらに工夫していく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022400		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	訪問型介護予防事業		予算事業名	訪問型介護予防事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつ等の二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)						
	誰(何)を対象として	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつ等の二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症・うつ・閉じこもりの二次予防事業対象者及び当該おそれのある一般高齢者に対し、保健師等が直接訪問し家庭における療養方法、介護を要する状態になることの予防に関する指導等を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	訪問延べ人数	人	75	37	39	45		

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.040	0.044	110	0.020	45	0.040	200	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0		-	
支出内訳	人件費	649,960	666,016	102	471,070	71	645,429	137	
	事業費	197,000	62,730	32	130,679	208	335,000	256	
	合計	846,960	728,746	86	601,749	83	980,429	163	
財源内訳	国庫支出金	248,913	15,682	6	32,670	208	83,750	256	
	県支出金	124,457	7,821	6	16,335	209	41,875	256	
	市債			-		-		-	
	その他	497,826	31,365	6	65,340	208	167,500	256	
	一般財源	-24,236	673,878	-2.780	487,404	72	687,304	141	
	合計	846,960	728,746	86	601,749	83	980,429	163	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訪問指導者数の増減							
指標説明(式)		訪問指導者数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	40	80	200.0	80	100.0	80	100.0	
	実績	75	37	49.3	39	105.4			
指標名2		新規介護認定者数の増減							
指標説明(式)		新規介護認定者数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	6	2	33.3	4	200.0			

【効率性】

指標名1		訪問1回あたりのコスト							
指標説明(式)		5,500円/回							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5500	5500	100.0	5500	100.0	5500	100.0	
	実績	5500	5500	100.0	5500	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新規介護認定者数が増加した。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の定義に則した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	委託保健師の確保でき、定期的な訪問が可能になり個別ケアプランに則した訪問実施が出来た。	4
	執行体制の効率性	執行体制について特段の問題はみられない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なし	3

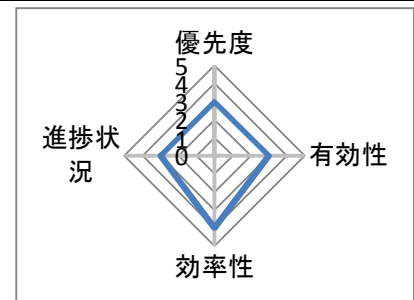
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新規介護認定者数の増加

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の状態にもよるが出来る限り、より介護予防としての効果がみられるような個別ケアプランを立てる。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022500		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	膝腰らくらく教室		予算事業名	膝腰らくらく教室事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 山下 恵
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		運動機能の向上のため、実施期間は5か月を1期間とし前期、後期の年2期とする。それぞれ午前、午後の開催とする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	回数	回	35	80	79	80	
	人数	人	450	907	942	1000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.040	0.052	130	0.040	77	0.040	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0	0.080	-	
支出内訳	人件費	649,960	727,808	112	624,810	86	847,589	136	
	事業費	757,525	1,541,138	203	1,515,418	98	1,601,000	106	
	合計	1,407,485	2,268,946	161	2,140,228	94	2,448,589	114	
財源内訳	国庫支出金	428,453	567,237	132	535,057	94	612,147	114	
	県支出金	214,227	283,618	132	267,529	94	306,074	114	
	市債			-		-		-	
	その他	856,906	1,134,473	132	1,070,114	94	1,224,295	114	
	一般財源	-92,101	283,618	-308	267,528	94	306,073	114	
	合計	1,407,485	2,268,946	161	2,140,228	94	2,448,589	114	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	540	1170	216.7	1000	85.5	1000	100.0	
	実績	450	907	201.6	942	103.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	70559	26483	37.5	28400	107.2	30607	107.8	
	実績	40214	28362	70.5	27091	95.5			
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	15	15	100.0	13.8	92.0	12.5	90.6	
	実績	12.9	11.3	87.6	11.9	105.3			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標達成まではいかなかったが、延べ参加者数増となった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令等に合致した内容であり、かつ市民のニーズに適した内容である。	
効率性	コストの節減	教室1回当たりの事業コストが減少した。	3
	執行体制の効率性	専門職へ委託実施しており、参加者の満足度も高いため現状問題なし。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

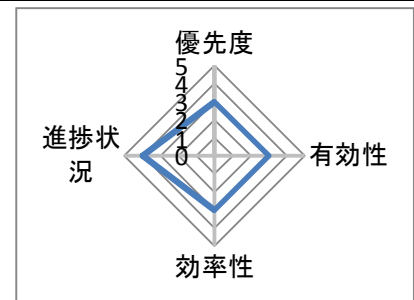
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	特段の問題なし

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	より多く参加してもらい、目標達成を目指す。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022600		事業の種類	1				
年度	25	事務事業名	普及啓発事業		予算事業名	普及啓発事業		優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	友上 啓子		担当者名	山下 恵	
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱								
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者								
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者								
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防に資する基本的な知識を普及啓発する								

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成及び配布								
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画				
	パンフレット配布数	部	3000	3000	3000	3000				

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.052	130	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0	0.008	-	
支出内訳	人件費	649,960	635,120	98	624,810	98	762,017	122	
	事業費	495,641	321,940	65	308,778	96	329,000	107	
	合計	1,145,601	957,060	84	933,588	98	1,091,017	117	
財源内訳	国庫支出金			-	233,397	-	272,754	117	
	県支出金			-	116,699	-	136,377	117	
	市債			-		-		-	
	その他			-	466,794	-	545,509	117	
	一般財源	1,145,601	957,060	84	116,698	12	136,377	117	
合計	1,145,601	957,060	84	933,588	98	1,091,017	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	健康な状態のときから、介護予防に資する基本的な知識の普及が図れる。	3
効率性	手段の最適性	生活習慣病健康診査時に配布するため、直接保健師から説明し手渡すことが出来る。その他、市民要望講座等でも随時普及啓発している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	3

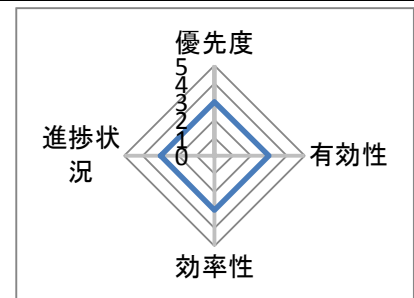
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	問題なし

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より広く介護予防について普及啓発できるよう必要に応じて対応する。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022700		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	健康大学講座事業		予算事業名	健康大学講座事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 富田 要
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	回数	回	3	10	10	10	
	人数	人	521	1,321	1726	1700	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.102	0.042	41	0.092	219	0.104	113	
	臨時職員	0.024	0.032	133	0.024	75	0.024	100	
支出内訳	人件費	1,177,002	708,240	60	1,083,118	153	1,220,061	113	
	事業費	400,000	400,000	100	400,000	100	400,000	100	
	合計	1,577,002	1,108,240	70	1,483,118	134	1,620,061	109	
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	100,000	100	100,000	100	
	県支出金	50,000	50,000	100	50,000	100	50,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	一般財源	1,227,002	758,240	62	1,133,118	149	1,270,061	112	
合計	1,577,002	1,108,240	70	1,483,118	134	1,620,061	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1890	1500	79.4	1500	100.0	1700	113.3	
	実績	521	1321	253.6	1726	130.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		事業費の負担割合							
指標説明(式)		4月11日							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円/回							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	100000	100000	100.0	100000	100.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市民会館中ホールにて、10回開催した。	4
	市民サービス	健康に関する関心は高く、高齢者のニーズは高いと考えている。	
効率性	手段の最適性	講師の都合により木曜日の午後、公的施設の市民会館中ホールにて、開催した。	3
	コストの節減	相生市医師会と共催で開催。収容人員の問題はあるが市民会館中ホールにて開催した。市の負担割合4回分相当額を負担。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定した10回の健康大学講座が開催できた。	4

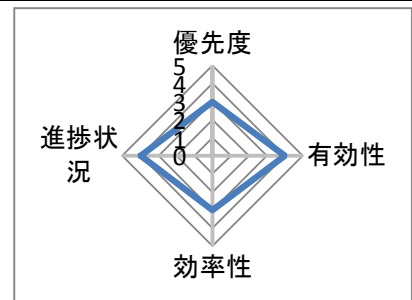
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	参加者数に見合った会場設営。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	市民会館中ホールにおける予備椅子を利用した会場設営で、コストの節減を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022800	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	いきいきアップ事業	予算事業名	いきいきアップ事業
優先度	3	まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵
取組み事項	介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領				
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者			
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	65歳到達者にいきいきアップ教室、いきいきアップ教室受講者にいきいきアップOB教室として、介護予防の為の運動教室として月1回トレーナーのもと運動指導を実施					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	いきいきアップ教室回数	回	24	24	36	24
	いきいきアップ参加人数	人	652	926	876	1100

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.116	0.116	100	0.096	83	0.096	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.060	750	
支出内訳	人件費	1,249,980	1,222,144	98	1,074,810	88	1,246,785	116	
	事業費	861,723	864,065	100	1,236,778	143	1,345,000	109	
	合計	2,111,703	2,086,209	99	2,311,588	111	2,591,785	112	
財源内訳	国庫支出金	445,658	521,552	117	577,897	111	647,946	112	
	県支出金	222,829	260,776	117	288,949	111	323,973	112	
	市債			-		-		-	
	その他	891,316	1,043,105	117	1,155,794	111	1,295,893	112	
	一般財源	551,900	260,776	47	288,948	111	323,973	112	
	合計	2,111,703	2,086,209	99	2,311,588	111	2,591,785	112	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	いきいきアップ事業延べ参加者の増減								
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	540	700	129.6	1200	171.4	1100	91.7	
	実績	652	926	142.0	876	94.6			
指標名2	いきいきアップ教室参加率(%)								
指標説明(式)	いきいきアップ教室参加者/65歳到達者*100								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	—	—	—	—	—	6	—	
	実績				4.5				

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	148553		0.0	71190	-	107991	151.7	
	実績	87987	86925	98.8	64210	73.9			

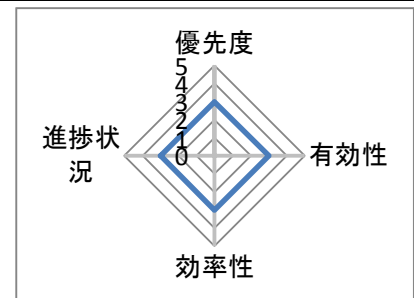
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者数/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	45	50	111.1	35	70.0	46	131.4	
	実績	27.2	39	143.4	24	61.5			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	いきいきアップ教室への申込者が例年よりも減少し、延参加者についても減少となった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	参加者希望もあり教室終了者に対するOB教室を実施し、多くの方が継続してOB教室にも参加している。健康状態の維持・向上に関して有効に働いている。人数も増え続けているため、今後の展開について検討事項としたい。	
効率性	手段の最適性	総合福祉会館4階多目的ホールで実施しており、冷暖房の調整が出来る為高齢者にとってよりよい環境のもとで運動できる。また参加人数に対して適切な広さで実施できている。	3
	コストの節減	開催回数、参加人数の増加のため、総コストは増となったが、1回当たり事業費コストについては減少となる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	H25年度よりアップOB教室を2回開催としたが、要検討事項も出たため見直しが必要である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	事業の今後の展開について(参加者数の増加、継続者へのフォロー)



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	現在のニーズに応じ、より効果のある介護予防事業となるよう検討する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022900	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	てんとうむしフォロー教室事業
予算事業名	てんとうむしフォロー教室事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち	担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子
取組み事項	介護予防などを推進する	担当者名	山下 恵
実施計画事業名		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者(てんとうむし教室卒業生)	
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	二次予防事業である「てんとうむし教室」に参加していた者で、運動機能が向上し、一般高齢者となった者、あるいは介護予防ケアマネジメントによりそれらと同等の運動機能であり、事業実施が適当とされた者に対し、市立温水プールにおいて週1回、1回あたり1時間半運動指導を					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	回数	回	45	47	47	48
	人数	人	402	425	655	720

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.042	0.042	100	0.052	124	0.040	77	
	臨時職員	0.008	0.020	250		0		-	
支出内訳	人件費	665,750	679,404	102	717,054	106	645,429	90	
	事業費	1,233,783	899,225	73	952,054	106	1,056,000	111	
	合計	1,899,533	1,578,629	83	1,669,108	106	1,701,429	102	
財源内訳	国庫支出金	474,883	394,657	83	417,277	106	425,357	102	
	県支出金	237,442	197,329	83	208,639	106	212,679	102	
	市債			-		-		-	
	その他	949,766	789,315	83	834,554	106	850,715	102	
	一般財源	237,442	197,328	83	208,638	106	212,678	102	
合計	1,899,533	1,578,629	83	1,669,108	106	1,701,429	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ参加者の増減								
指標説明(式)	延べ参加者数								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400	450	112.5	480	106.7	720	150.0	
	実績	402	425	105.7	655	154.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42849		0.0	34985	-	35446	101.3	
	実績	42211	33588	79.6	35513	105.7			

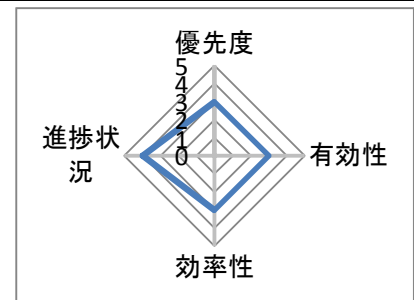
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8.3	10	120.5	10	100.0	15	150.0	
	実績	8.9	9	101.1	14	155.6			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	当教室を受講した多くの参加者が運動効果を実感し、運動・介護予防に対する意識が高まっている。	3
効率性	執行体制の効率性	委託先からの報告等、情報共有がスムーズに行えている。	3
	手段の最適性	市立温水プールの健康運動指導士に委託し、運動指導に必要な器具等を施設の物を使用可能であり、実施方法として最適であると考えられる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状で問題はなし。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現状で問題ないみられないが、より効率性を高められるよう念頭に置き事業の実施とする。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023000	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	のびのび健康教室事業	予算事業名	のびのび健康教室事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	筋力トレーニングで介護予防を図ろうとしている高齢者			
	誰(何)を対象として	要介護認定を受けていない高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態に陥ることなく住み慣れた地域で元気に暮らしていけるように			

2 事業の概要 Do

実施の概要		体力・筋力を維持するための基本的な知識と自宅で行なえるトレーニングやストレッチ体操などを指導し、介護予防を図り、住み慣れた地域で生活継続できる体力づくりを図る。前期と後期に別け、総合福祉会館及び2会場で各6回開催している。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	延べ参加者	人	429	809	1,033	1,300
	実参加者	人	114	191	241	260

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.056	0.100	179	0.164	164	0.152	93	
	臨時職員	0.008	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	776,280	1,079,336	139	1,577,998	146	1,544,901	98	
	事業費	871,305	1,456,819	167	1,800,000	124	1,778,000	99	
	合計	1,647,585	2,536,155	154	3,377,998	133	3,322,901	98	
財源内訳	国庫支出金	275,000	364,204	132	450,000	124	444,500	99	
	県支出金	137,000	182,102	133	225,000	124	222,250	99	
	市債	0	-	-	-	-	-	-	
	その他	550,000	728,409	132	900,000	124	889,000	99	
	一般財源	685,585	1,261,440	184	1,802,998	143	1,767,151	98	
	合計	1,647,585	2,536,155	154	3,377,998	133	3,322,901	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)		延べ参加者の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	570	81.4	900	157.9	1,300	144.4	
	実績	429	809	188.6	1,033	127.7			
指標名2		体力測定結果に見る体力維持の効果							
指標説明(式)		第1回教室開始前と第6回教室後に測定する体力測定の結果、「数値が良くなった」及び「数値が変わらなかった」者の割合							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標		(前期)75(後期)75	-	(前期)75(後期)75	-	(前期)75(後期)75	-	
	実績	(前期)63(後期)73	(前期)55(後期)60	-	(前期)66(後期)54	-			

【効率性】

指標名1		教室参加者1人あたりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費/実参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7857.1	10666.7	135.8	9090.9	85.2	6838.5	75.2	
	実績	7643	7627.3	99.8	7468.9	97.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教室開始時と終了時に体力測定を行っており、全体的な傾向として、下肢筋力の強化と平衡感覚の維持に効果が認められる。	4
	成果の向上	教具を使ったり、趣向を凝らして飽きの来ない教室づくりで、受講生にはリピーターが多い反面、より多くの高齢者の参加が課題。	
効率性	手段の最適性	月1回の教室があり、学んだことを自宅で反復継続的に実践させ、介護予防の効果を高める事が大事。	3
	執行体制の効率性	高齢クラブ連合会に委託しているため、広報以外の方法による高齢者への事業PRができ、新規受講者を増やす事で効果的。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

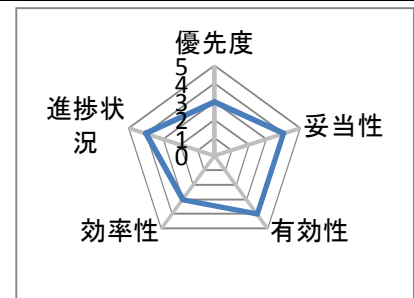
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	月1回の教室なので、学んだことを自宅で反復継続的に、することは難しいので方法を検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	自宅での反復継続を出来るようにDVD等の貸し出し等を考える。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023100	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	脳健康教室	予算事業名	脳健康教室事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	山下 恵
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者			
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	認知症を予防し、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		公文式学習療法による簡単な読み書き、計算、数字盤を週1回ペースでサポーターにより実施する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	回数	回	117	119	114	120
	人数	人	921	1151	1258	1400

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.116	0.112	97	0.148	132	0.092	62	
	臨時職員	0.008	0.008	100		0	0.080	-	
支出内訳	人件費	1,249,980	1,191,248	95	1,455,006	122	1,265,201	87	
	事業費	1,559,912	1,827,162	117	1,914,799	105	2,333,000	122	
	合計	2,809,892	3,018,410	107	3,369,805	112	3,598,201	107	
財源内訳	国庫支出金	749,140	754,603	101	842,451	112	899,550	107	
	県支出金	374,570	377,301	101	421,226	112	449,775	107	
	市債			-		-		-	
	その他	261,000	1,682,705	645	1,684,903	100	1,799,100	107	
	一般財源	1,425,182	203,801	14	421,225	207	449,776	107	
	合計	2,809,892	3,018,410	107	3,369,805	112	3,598,201	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2560	1900	74.2	1800	94.7	1400	77.8	
	実績	921	1151	125.0	1258	109.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		教室1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	18729		0.0	32388	-	29985	92.6	
	実績	24016	25365	105.6	29560	116.5			

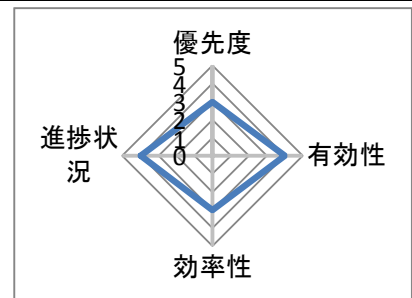
指標名2		教室1回あたりの参加者							
指標説明(式)		延べ参加者/開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	16	16	100.0	16	100.0	16	100.0	
	実績	7.9	9.7	122.8	11	113.4			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標達成は出来ないものの、実施回数が減少しているにもかかわらず、延べ参加者数の増加はみられる。	4
効率性	手段の最適性	より地域の方が参加できるよう、公民館や自治会館を利用している。	3
	コストの節減	教材費の一部負担を参加者に求めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地区を限定して個別案内する等周知方法を工夫することで進捗状況は問題なし。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	地域に密着してより参加しやすい場所での実施としているが、1回当たりの参加者数が伸び悩んでいる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	1回当たりの参加者数の増加を図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	配食サービス事業	予算事業名	配食サービス事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	中嶋 恵子
根拠法規及び関連法規		相生市配食サービス事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者			
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように			

2 事業の概要 Do

実施の概要		見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に、1食あたり200円の助成券を支給する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	延べ利用食数	食	27,802	28,525	27,607	31,248

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.048	0.080	167	0.124	155	0.114	92	
	臨時職員	0.012	0.000	0	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	722,508	924,856	128	1,270,518	137	1,239,723	98	
	事業費	5,787,200	5,937,575	103	5,770,577	97	6,557,000	114	
	合計	6,509,708	6,862,431	105	7,041,095	103	7,796,723	111	
財源内訳	国庫支出金		2,345,342	-	2,279,377	97	2,590,015	114	
	県支出金		1,172,671	-	1,139,688	97	1,295,007	114	
	市債			-		-		-	
	その他		1,246,890	-	1,211,821	97	1,376,970	114	
	一般財源	6,509,708	2,097,528	32	2,410,209	115	2,534,731	105	
合計	6,509,708	6,862,431	105	7,041,095	103	7,796,723	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用食数の増減							
指標説明(式)		延べ利用食数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
食	目標	29,640	29,640	100.0	30,420	102.6	31,248	102.7	
	実績	27,802	28,525	102.6	27,607	96.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

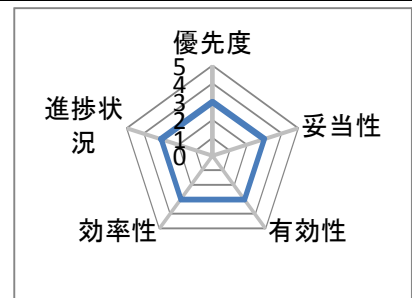
指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	195.2	200.3	102.6	209.7	104.7	249.5	119.0	
	実績	208.2	240	115.3	255	106.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市民税非課税世帯が減少し、配食数が逡減している。	3
	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、本市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	
効率性	負担割合の適正化	標準配食料金550円/食に対して、補助金200円/食、利用負担額が350円/食となっており、高齢者世帯にとっては利用しやすい負担割合となっている。	3
	手段の最適性	親族による家事援助等を促す趣旨から、土日祝を除き、月20食を限度にサービスを提供しているが、親族の手助けが得られない高齢者が増加しているため、月20食の限度の見直しの検討。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	親族の手助けが得られない高齢者にとって月20食を限度を見直す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	配食券の利用数を調査し検討する。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302023300		事業の種類		4	
年度	25	事務事業名	認知症高齢者サポート事業	予算事業名	認知症高齢者サポート事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	河内 真理子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		キャラバンメイト養成研修を受講した方々を講師とし、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、認知症サポーターが地域の認知症の方への声掛け等を実施し見守りができるような仕組みづくりのため、フォローアップ講座を年1回開催					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	開催回数	回	8	11	12	13	
	受講者数	人	297	334	949	900	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.160	0.200	125	0.140	70	0.284	203	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,578,584	1,851,736	117	1,393,510	75	2,604,993	187	
	事業費	23,238	30,900	133	140,100	453	164,000	117	
	合計	1,601,822	1,882,636	118	1,533,610	81	2,768,993	181	
財源内訳	国庫支出金	11,000	470,659	4,279	55,340	12	62,000	112	
	県支出金	6,000	235,329	3,922	27,670	12	31,000	112	
	市債			-		-		-	
	その他	6,000	941,319	15,689	29,421	3	34,000	116	
	一般財源	1,578,822	235,329	15	1,421,179	604	2,641,993	186	
	合計	1,601,822	1,882,636	118	1,533,610	81	2,768,993	181	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数の増減							
指標説明(式)		認知症サポーター養成研修開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	5	10	200.0	10	100.0	13	130.0	
	実績	8	11	137.5	12	109.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受講者数に増減							
指標説明(式)		延受講者数の増減							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	200	300	150.0	700	233.3	900	128.6	
	実績	297	334	112.5	949	284.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識が普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバンメイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています	4
	執行体制の効率性	H25年度キャラバンメイト養成講座を開催し、18名の登録者数増となった。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

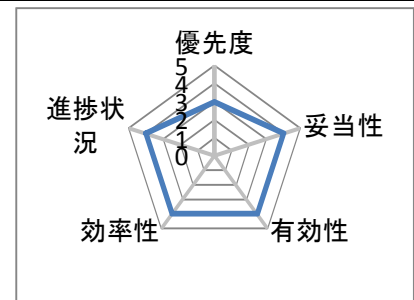
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	キャラバンメイトの活動を促進し、認知症サポーター養成講座の開催増に向けて検討する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	キャラバン・メイトの活動を促進し、認知症サポーター数の増加を図る



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023400	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	後期高齢者医療保険事業	予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		後期高齢者医療制度整備事業(更新)		後期高齢者医療制度整備事業(保守)	
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、後期高齢者医療に関する条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者			
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者に適切な医療給付、賦課を行うことにより、持続可能な制度とし、高齢者が健やかで安心した生活を送れるようにする			

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療被保険者の療養諸費、高額療養費、葬祭費等給付の受付、保険料の賦課、納入通知書の送付事業				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	保険料賦課額	円	319,890,451	339,217,481	339,568,337	379,750,000
	被保険者数	人	4,598	4,743	4,789	4,973
	保険料負担金	円	379,958,500	402,927,756	418,600,222	460,177,000

3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.289	1.580	123	1.688	107	1.589	94	
	臨時職員	0.413	0.155	38	0.154	99	0.155	101	
支出内訳	人件費	11,461,350	12,883,321	112	13,668,900	106	13,477,133	99	
	事業費	386,253,728	416,846,971	108	424,950,264	102	467,487,000	110	
	合計	397,715,078	429,730,292	108	438,619,164	102	480,964,133	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	44,793,672	49,566,411	111	51,393,081	104	59,554,000	116	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	352,921,406	380,163,881	108	387,226,083	102	421,410,133	109	
	合計	397,715,078	429,730,292	108	438,619,164	102	480,964,133	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの保険料賦課額							
指標説明(式)		保険料賦課額/被保険者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	70,926	76,694	108.1	74,914	97.7	76,362	101.9	
	実績	69,572	71,520	102.8	70,906	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		後期高齢者医療制度事業1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-保険料負担金)/被保険者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,904	5,884	120.0	4,267	72.5	4,180	98.0	
	実績	3,861	5,651	146.4	4,180	74.0			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者の医療保険制度がスタートして5年が経過し、安定的な運営により、健康で健やかな生活を送るための目的が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	経費を節減することにより、1件あたりのコストを削減することができた。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

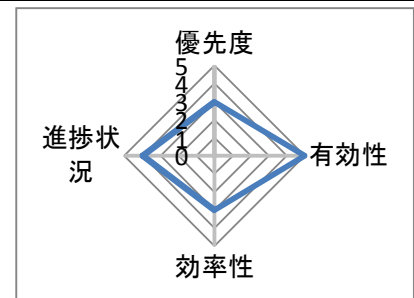
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	さらなる後期高齢者医療制度の市民への周知が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	安定した制度を維持していくためには、広域連合との連携体制を強化する必要がある。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302040100		事業の種類	1			
年度	25	事務事業名	地域包括支援センター運営事業	予算事業名	包括的支援事業・任意事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子	
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市地域包括支援センター運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務の実施					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市医師会に運営委託し、地域包括支援センターの各種業務(総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務等)を実施している(平成18年度より開設)。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	総合相談支援業務	件数	1145	1050	903	1000
	権利擁護業務	件数	75	44	21	50
	包括的継続的ケアマネジメント業務	件数	62	93	45	50
ケアプラン作成件数+地域連携件数	件数	2590	2853	2874	3100	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.206	0.318	154	0.162	51	0.280	173	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,941,754	2,763,168	142	1,562,624	57	2,572,869	165	
	事業費	30,110,000	30,110,000	100	38,115,000	127	40,258,000	106	
	合計	32,051,754	32,873,168	103	39,677,624	121	42,830,869	108	
財源内訳	国庫支出金	12,000,000	12,984,901	108	15,055,425	116	15,902,000	106	
	県支出金	6,000,000	6,492,451	108	7,527,713	116	7,951,000	106	
	市債	0		-		-		-	
	その他	6,000,000	6,903,365	115	8,004,150	116	8,454,000	106	
	一般財源	8,051,754	6,492,451	81	9,090,336	140	10,523,869	116	
	合計	32,051,754	32,873,168	103	39,677,624	121	42,830,869	108	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4000	4100	102.5	4200	102.4	4200	100.0	
	実績	3872	4040	104.3	3843	95.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		支出事業費÷(総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7563	7378	97.6	8393	113.8	9585	114.2	
	実績	7776	7453	95.8	9918	133.1			

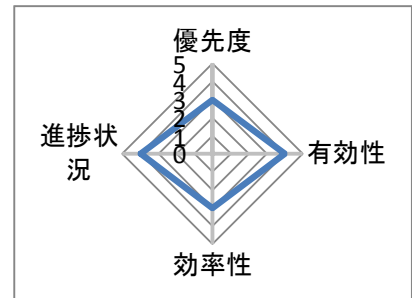
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	活動実績が高く、高齢者在宅福祉の重要な機関として市民の認知度が浸透している。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	3
	コストの節減	業務量の増加に伴い、委託料が増加しているため、コストの節減が図られていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	業務量の増加に伴い、委託料が年々増加している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	増加する高齢者のために、総合相談窓口である包括支援センターの認知度を更に高めていく。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	老人福祉法第32条の2						
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。西播磨成年後見センターの設立に向けての会議への参加している。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	市民後見に関する講演会	回	—	1	1	1
	市民後見人養成人数	人	1	0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	—	0.026	—	0.027	104	
	参事以下職員			—	0.240	—	0.188	78	
	臨時職員			—		—		—	
支出内訳	人件費			—	2,162,210	—	1,834,017	85	
	事業費			—	76,360	—	365,000	478	
	合計			—	2,238,570	—	2,199,017	98	
財源内訳	国庫支出金			—	76,000	—	365,000	480	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他			—		—		—	
	一般財源			—	2,162,570	—	1,834,017	85	
合計			—	2,238,570	—	2,199,017	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)		講演会への参加人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	—	50	—	50	100.0	80	160.0	
	実績	—	35	—	50	142.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	—	0	—	0	—	0	—	
	実績	—	0	—	0	—			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	後見制度の利用数を鑑み、広域的な成年後見センターの設立をめざす。	
効率性	負担割合の適正化	国のモデル事業(市民後見人養成事業)であり、国庫補助10割のため、現在市の費用負担は人件費のみ。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

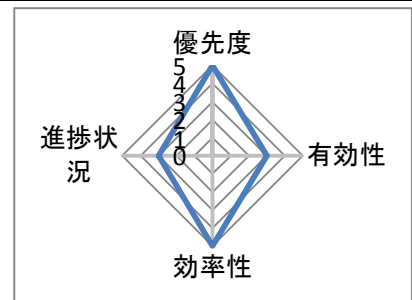
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	講演会等を通じ、後見制度に対するさらなる普及に努め、市民後見人に対する関心も深めていただけるような事業展開を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	広報やホームページを利用し、さらなる普及啓発に努める。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020303010200		事業の種類		1	
年度	25	事務事業名	還付金	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子	担当者名	富田 智美
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保険料の還付					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	保険料還付人数	人	83	100	83	100	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.144	1,800	0.100	69	0.032	32	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	378,544	1,419,192	375	1,086,030	77	581,181	54	
	事業費	686,639	754,383	110	711,593	94	1,277,100	179	
	合計	1,065,183	2,173,575	204	1,797,623	83	1,858,281	103	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	1,065,183	754,383	71	711,593	94	1,277,100	179	
	一般財源	0	1,419,192	-	1,086,030	77	581,181	54	
合計	1,065,183	2,173,575	204	1,797,623	83	1,858,281	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者数/相生市人口							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0	33	110.0	
	実績	29.3	30.71	104.8	31.89	103.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		還付状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		総事業費/還付人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標		16861	-	12725	75.5	18582	146.0	
	実績	12833	21735	169.4	21658	99.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正・確実に還付を行った。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に還付を行った。	
効率性	手段の最適性	適正・確実に還付を行った。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	還付事務の見直しを行い、速やかに還付できるようになった。	5

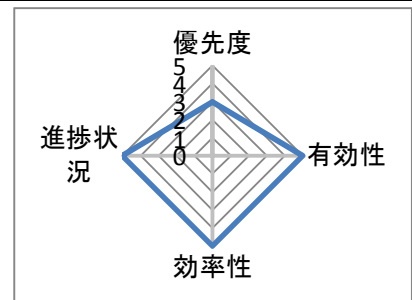
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	21